

一般社団法人南陽市スポーツ協会

令和6年度 事業計画

1 基本方針

パリ五輪の年です。セーナ河畔を会場とした新たな発想での開会式が予定されております。また、東京五輪で新たに実施されたスケートボード、スポーツクライミング、サーフィンに加えブレイキンが新競技として実施されることから、一層の都市型や近年「ライフスタイルスポーツ」と呼ばれるようになった若者文化的傾向を濃くする様相になるようです。多様化する価値観の中で、何とかオリンピックの存在意義を保とうとするIOCの努力姿勢の効果とともに、平和の祭典と呼ばれる世界一のスポーツイベントが侵略と紛争が続く世界にとってどれだけの役割を果たせるのか、改めて考えさせられる気がします。

長年の学校教育課題の一つでありました部活動問題が各市町という設置者レベルでの進行が期待される年となります。これまでの中学生がスポーツに親しんできた、最も身近で競技スポーツの普及・強化にも大きな役割を果たしてきた部活動に代わる役割が、地域に託されようとしています。各競技・種目によって取り巻く環境や条件は異なるわけですが、中学生に対して何らかの形で休日のスポーツ活動機会を提供することは不可欠と思われます。指導者、会場、移動方法、参加に係る経費、活動内容、大会参加方法等々、市教委が中心となりながらスポーツ協会全体での統一感を保ちつつ、かつ加盟団体個別の特徴を打ち出しながら工夫した環境整備を進めていけることを期待します。

スポーツや運動をとおした健康づくりの大切さは誰もが認めるところです。加盟団体の皆様からの更なるご協力、ご指導を得ながら、一層多くの市民の方々にスポーツに親しんでいただけるよう、次の基本方針を掲げて具体的な取組みを行いたいと思います。

- (1) ライフステージに応じてスポーツ活動に親しめる環境づくりと健康寿命の延伸
- (2) 各加盟団体の組織強化とスポーツ協会事業の充実
- (3) 児童の基礎的運動能力向上、中学生のスポーツ実践機会の支援
- (4) 幼少期での運動遊び機会の創出
- (5) スポーツマナー、モラルの向上

2 重点目標と具体的方策

(1) ライフステージに応じてスポーツ活動に親しめる環境づくりと健康寿命の延伸

スポーツ大会運営への協力、上級大会参加者の壮行会や体育祭開会式などの開催、また、加盟団体の種目特性を踏まえた各種事業の実施により、市民のスポーツ振興に寄与する。

スポーツや運動に関心が無く、スポーツ実践と無関係な方々でも「支えるスポーツ」「見るスポーツ」「知るスポーツ」への働きかけを検討、試行する。

【具体的方策】

- ① 県縦断駅伝競走大会、県女子駅伝競走大会運営の協力
- ② 第25回記念さわやかワインマラソン大会の運営協力
- ③ 国民体育大会選手、全国障がい者スポーツ大会選手壮行式の開催
- ④ 南陽市体育祭総合開会式の開催
- ⑤ 県少年少女スポーツ交流大会出場選手壮行式の開催
- ⑥ 「生涯スポーツ振興事業」の実施
- ⑦ スポーツ教室の開催 別頁「2024 南陽市民体育館スポーツ教室」
- ⑧ より参加しやすいスポーツイベントの開催
ウォーキングイベントや「体育館フェスティバル」の開催
- ⑨ 市民スポーツレクリエーション大会への協力

(2) 各加盟団体の組織強化とスポーツ協会事業の充実

会員数の確保と日本スポーツ協会や中央競技団体等公認指導者資格を有する会員の増加を図る。また、今後の部活動地域移行に係る地域クラブ創設や、それに伴う指導者育

成に役立てられるような研修や支援方策を検討する。

専門部活動のねらいを明確にし、計画的な活動を行うことで地域スポーツ振興の充実を図る。また、協会全体の適正な財政基盤維持のあり方について研究する。

【具体的方策】

①指導者資格取得、及び審判員資格取得の支援

②専門部活動の充実

[強化振興部]

ア. 児童の基礎運動能力向上を図る事業を実施する。より多くの子どもたちが参加できるように、複数回の実施など開催方法を工夫する。

イ. 指導者のニーズにあった内容での研修会を企画するとともに、SNSの活用や、チラシのチャットコピーを工夫するなどにより、できるだけ多くの参加者確保を図る。

ウ. 今後、地域クラブ要件として想定される指導者資格に役立てられるような、研修会実施を検討する。

[スポーツ医科学部]

ア. 広く生活全体の中で気軽に実施できる体操や健康づくりに関する講演会を実施する。

イ. 働き盛りやスポーツによる疲労や身体負荷の扱い方に係る講演会を実施する。

[広報部]

ア. 「スポーツ南陽」の発行と閲覧者を増やす方策を進めていく。

イ. よりタイムリーな、より実効的な紙面づくりに努める。

[財務部]

ア. 「生涯スポーツ振興事業」「競技力・青少年スポーツ強化事業」が適正に実施されるよう審査する。

イ. 会費のあり方や協賛金の扱い方等についての検討を図る。

副会長（本部役員）が部会長を務め、加盟団体から選出された若干名の部員とで構成する。任期は理事任期に準ずる。

③競技種目の普及・振興を目的としたイベント開催の支援

④日々の活動の励みや指導に活かせる内容の講習会や講演会の開催

⑤表彰制度の継続

⑥新春スポーツ講演会、新春スポーツ懇談会の開催

⑦女性役員の登用検討の呼びかけ

⑧体育祭総合開会式レプリカの有効活用

⑨本部役員のパラグライダー体験研修

(3) 児童の基礎的運動能力向上、中学生のスポーツ実践機会の支援

児童のスポーツ全般に共通する運動能力の養成を図ることで、将来につながる競技の基礎力を向上させる。また、改革が進む学校部活動について、生徒がスポーツに親しめる機会の創出を図るとともに、公認指導者資格取得・公認審判員資格取得や指導力向上に資する研修会参加などにより生徒のスポーツ活動の充実を図る。

【具体的方策】

①基礎的運動能力向上講習会

②市内中学生スポーツへの強化支援

・県中学校総合体育大会参加支援

・優秀個人・団体（部活動、クラブチーム）強化

・部活動の冬季活動支援

・休日もスポーツができるスポーツ機会づくり

南陽市部活動の地域移行検討委員会と連携した地域クラブの創設への取組み

- ③競技力・青少年スポーツ強化事業
- ④指導者の研修会実施
- ⑤各種研修会への参加支援

(4) 幼少期での運動遊び機会の創出

幼時から小学生を多少とした運動遊び、スポーツ体験会を実施する。

【具体的方策】

①「体育館フェスティバル」

「SOMPO ボールゲームフェスタ in 南陽」の開催(5/18)

「あそびバ」さまざまなボール遊び 年中児～小学1, 2年生 70組 140名

「キッズチャレンジ」

(バスケットボール、ソフトボール、サッカー、バレーボール) 小学生 100名

(5) スポーツマナー、モラルの向上

成人スポーツ愛好者の社会人としてのマナーの自覚を促すことで、よりスポーツを通じた心地よい関係性を構築し、また児童生徒の範となることで、スポーツ実践の社会的価値の向上につなげるようにする。

【具体的方策】

- ①体育施設利用時の挨拶、用具管理、清掃の励行
- ②体育施設適正使用の呼びかけ
- ③体育施設、公園施設近隣での禁煙運動の推進